

一 般 質 問 通 告 書

平成28年第4回定例会 No. 1

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
1	高 田 豊 繁	1 未収金の収納対策について	(1) 公平公正な町政の運営及び自主財源確保による住民福祉の向上を図る上から、各種税金や負担金・使用料等の未収金は、適正かつ合理的な徴収が不可欠であると思われるが、今後、具体的対策をどう講じていく考えであるか。	町 長
		2 定期船の抜港対策について	(1) 近年、定期船が与論港を抜港する頻度が高くなっており、住民や旅行者に不便を来しているが、町長は、この対策について県当局や関係機関に強く要請する考えはないか。	町 長
		3 町民にやさしい公文書の作成について	(1) 近年、町民へ配布される公文書の文字の矮小化が見受けられるが、高齢化社会の実現も考慮し、文字サイズの見直しや必要に応じ用語の注釈を付すなど、町民にやさしい公文書の作成に努める考えはないか。	町 長
		4 新庁舎建設に関する住民投票条例の制定と迅速な新庁舎建設の推進について	(1) 新庁舎の建設場所については、既に町民アンケートの実施がなされ、概略的な町民の意見は集約されていることと思われるが、この際、住民投票条例を制定し、多くの町民の判断に委ねた上で建設場所や規模等について決定し、迅速に新庁舎の建設事業を推進する考えはないか。	町 長
2	沖 野 一 雄	1 奄美群島の国立公園指定及び世界自然遺産登録を見据えた振興策について	<p>(1) 環境省によると、奄美群島とその沿岸海域を来年の早い時期に国立公園に指定する方針であり、さらに、奄美大島・徳之島と沖縄本島のやんばる地域・西表島を合わせて「奄美・琉球」としてユネスコの世界自然遺産に登録することを目指すとしている。これは、関連する自治体にとって地域経済を浮揚させる絶好の追い風とを感じるが、町長はどのように認識し、具体的な施策をどう講じていく考えであるか。</p> <p>(2) 国立公園指定を目前にして、指定区域内の自然環境の保全はもとより、島全体の環境美化や清潔感のある町づくりを加速していくことが求められるが、その具体策の一つとして海岸沿いに放置された廃船や老朽化し</p>	町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成28年第4回定例会 No. 2

順位	質問者	質問事項	要 旨	質問の相手
			た船揚場・巻上げ施設，トイレ施設等の撤去・処理対策を急ぐ考えはないか。	
3	林 敏 治	1 公園整備について	(1) 魅力ある観光地づくりによる観光振興対策と子育て環境の整備という観点から，美しい皆田海岸の公園整備の必要性が痛感されるが，町長は，どう進める方針であるか。	町 長
		2 若者定住促進対策について	(1) 人口減少，少子化対策の一環として，町育英奨学資金の貸与を受けた者がUターンして定住した場合，返還金を所得に応じて減免するなどの対策を講じる考えはないか。	教 育 委 員 長
		3 畜産振興対策について	(1) 近年，沖縄県の糸満市，今帰仁村においては，年3回の山羊セリ市が開催され，肉の需要が高まる中，価格も上昇している。本町にも多くの購買者が訪れているが，供給不足となっている。この機会にJAと一体となって優良繁殖山羊貸付事業を導入して増産に取り組む考えはないか。	町 長
		4 産業振興対策について	(1) 地域資源をいかした特産品の開発を強力に支援するとともに，本町の農水産物を加工販売するなどの6次産業化を積極的に推進する考えはないか。	町 長
4	川 村 武 俊	1 堆肥センターの運営について	(1) 独自のシステムで運営されている堆肥センターは，畜産農家はもとより環境保全対策としてもなくてはならない施設である。近年は，牛の増頭が図られていることから，これまで以上に効率よく循環処理を行うことが求められているが，具体的な対策をどう講じていく考えであるか。	町 長
			(2) 中熟堆肥には雑草の種子が多く含まれており散布後の雑草の繁茂が著しいが，対策をどう講じていく考えであるか。	町 長
		2 水道施設の管理運営について	(1) 最近，水道水に含まれる石灰の量が増えているのではないかと心配する声が多数寄せられているが水質や水道施設に問題はないか。	町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成28年第4回定例会 No. 3

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
			(2) 老朽化した配水管の取替え計画は怎么样了。 (3) 今後、水道施設の老朽化により維持管理費の増大が予想される。水道使用料の未収金等が更に負担を大きくする可能性が考えられるが、対策をどう講じていく考えであるか	町 長 町 長
		3 桜島の大噴火による影響について	(1) 桜島大正大噴火規模の噴火が数十年以内に起きるおそれがあるとの専門家の研究報告があり、噴火警戒レベルが引き上げられた。この大噴火が起きれば島内への物流等に支障を来す可能性があると考えられるが、町長はどのように認識し、対策をどう講じていく考えであるか。	町 長
5	遠 山 勝 也	1 さといもの疫病対策について	(1) 昨年、鹿児島県のさといも種産地から購入した種いもと一諸に登録農薬のない疫病が持ち込まれ、さといも農家に大きなダメージを与えている。口蹄疫で甚大な被害を受けた宮崎県でもさといもの疫病は発生しており口蹄疫予防のための消毒液やさといもの疫病対策の看板等を公的施設の前に設置し常に住民に注意喚起を行っている。本町でも疫病対策を講じる必要があると痛感されるが、町長は、具体的な対策をどう考えているか。	町 長
		2 し尿貯留槽の整備について	(1) 山田し尿貯留槽の老朽化による地震対策と今後の整備計画は怎么样了。	町 長
		3 堆肥センターについて	(1) 堆肥センターは、畜産農家の牛ふん処理や地下水の汚染対策として欠くことのできない重要な施設である。現在、建設当初の計画よりも搬入量が増加し、処理が追いつかず堆肥の品質低下等が聞かれるが、町長は、対策をどう講じていく考えであるか。	町 長
6	町 俊 策	1 「ユンヌフトゥバの伝承」の取組について	(1) 11月に「危機的な状況にある言語・方言サミット」において菊秀史氏の研究発表と県立与論高等学校創立50周年記念事業において竹生政資氏による「ユンヌフトゥバ」の起源についての講演を聴く機会があり、	教 育 委 員 長

一 般 質 問 通 告 書

平成28年第4回定例会 No. 4

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
			<p>それぞれに深い感銘を受けるとともに、お二人の郷土愛に心をうたれた。このお二人の研究成果を基本に、島の成り立ちから近代に至るまでの島の歴史をミュージカル風に演出し、小・中・高校生が演じることによりユンヌフトゥバを伝承できるような取組を推進する考えはないか。</p>	